

//////////
いわて マナビィ マガジン

No.175 2019. 2.20

//////////
1月31日（木）、2月1日（金）の2日間にわたり行われた「岩手県生涯学習推進研究発表会」には、延べ212名の参加をいただきました。お陰様で、成功裏に終了することができました。ありがとうございました。

今回のマナビィ マガジンは、「岩手県生涯学習推進研究発表会～人づくり・地域づくりフォーラム2018～」についての報告と「天皇陛下御在位30年記念慶祝事業に伴う施設無料公開」の情報提供です。

「岩手県生涯学習推進研究発表会」(1/31-2/1)

～人づくり・地域づくりフォーラム2018～

【開催の趣旨】

少子化・高齢化が進む現代社会に対処するため、「地方創生」の取組が求められている。その一環として、子どもたちの教育の共通の目標に向けて協働することによる「学校を核とした地域づくり」「地域とともにある学校づくり」が進められている。多様な地域学校協働活動の推進事例を含めた講演と事例発表から、「学校と地域の連携・協働」の重要性について学ぶ。

【会場】 岩手県立生涯学習推進センター（花巻市）

【1/31・内容】

◆講演「学校と地域の連携・協働が目指すもの」

[講師] 愛媛大学大学院教育学研究科 教授 露口 健司 氏

※様々なデータをもとに、つながりによる教育的な効果（子ども、保護者・地域住民）の重要性について学びました。また、つながりをつくるヒントと幸福感を高めるためのキーワードについてもご教授いただきました。

【2/1・内容】

◆研究発表・協議

[進行・助言者]岩手大学 名誉教授 新妻 二男 氏

①「市町村における家庭教育支援のあり方に関する実践的研究」(1年次)

[発表者]県立生涯学習推進センター 社会教育主事 秋澤 美加子

②「学校と地域の連携・協働のあり方に関する研究」(2年次)

[発表者]県立生涯学習推進センター 社会教育主事 丹 康浩

※2つの研究について発表し、協議しました。

◆事例発表・協議「多様な地域学校協働活動の事例に学ぶ」

[発表者]

①北海道土士幌町教育委員会生涯学習・社会教育担当

社会教育主事 高橋 克磨 氏

②特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク

代表 伊勢 みゆき 氏

③大槌町教育委員会地域学校協働本部

コーディネーター 木村 里美 氏

大槌町教育委員会学務課 指導主事 米沢 俊哉 氏

[コーディネーター]

秋田県生涯学習センター学習事業班 主幹(兼)班長 皆川 雅仁 氏

※コミュニティスクールの導入の経緯や成果、NPOが支援した地域で子どもを支える仕組みづくりと実践的な取組、県内のコミュニティスクールの取組とコーディネーターの役割について学びました。

【受講者からの感想】

・学校と地域が協働・連携することによるメリットを様々な実践発表から学ぶことができた。勤務校でも取り入れられそうな実践もあり、本日参加して得たものは大きかった。学校、地域の連携によりダイナミックな学校経営できることをダイレクトに感じた。(教職員)

・様々な事例を聞くことができ勉強になった。地域人材育成の取り組みについてもアイデアをいただいたことで、いろいろな施設でも取組む必要性を感じた。(生涯学習・社会教育団体等の関係者)

・社会教育は、とても幅広いものであると実感している。今回はその中でも「家庭教育支援」「学校と地域の連携」について、たくさん勉強させていただいた。全てにおいて「つながり」が大切であると感じた。

迷惑メール対策として、特定の発信者からのメールのみを受信するドメイン指定受信機能と思われます。受信設定の指定メールアドレス欄に「pref.iwate.jp」の設定をお願いいたします。



発行：岩手県立生涯学習推進センター（花巻市北湯口 2-82-13）

編集：熊谷 浩二